

令和 8 年 7 月 8 日

福岡市長 高島宗一郎様

香住丘校区自治協議会
会長 倉員正治

「かしいかえん跡地の利活用に関する第一次提言書」

拝啓 時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

私たち香住丘校区自治協議会は、近年深刻化している香住丘小学校及び香椎第 2 中学校の老朽化及び過大規模校化問題をはじめ、かしいかえん跡地の利活用を含めた地域課題の解決に向けた取り組みを進めております。

香住丘小学校及び香椎第 2 中学校においては、教室不足、運動場不足、特別教室利用制限、プレハブ校舎対応、避難機能への不安など、教育環境の維持が困難な状況となっており、子どもたちの学習環境や安全性の確保が喫緊の課題となっています。（R. 7. 3. 27 要望書提出）

また、かしいかえん跡地は、1956 年の開園以来 65 年にわたり、地域住民に親しまれ、香住丘の歴史とともに歩んできた場所であり、その利活用は地域の未来に大きく関わる重要な公共的課題であると認識しております。

その一環として、私たちは「かしいかえん跡地利用懇話会」を設置し、学校関係者、教育委員会、地域住民、西日本鉄道株式会社等との意見交換を重ねるとともに、本年 1 月から 3 月にかけて、「かしいかえん跡地と香住丘の未来ワークショップ」を開催いたしました。

ワークショップでは、小学生から 80 代までの多世代住民が参加し、教育環境、防災、交流、環境、歴史継承など、多様な視点から地域の未来像について対話を行い、引き続き、このような対話の場を継続していくことも確認しました。

特に、教育環境の改善については、「今のままでは限界である」との切実な声が数多く寄せられ、跡地活用を単なる開発課題ではなく、“子どもたちの未来を支える公共政策課題”として捉える必要性が共有されました。

なお、本提言に先立ち、土地所有者である西日本鉄道株式会社様に対しても、地域との継続的な協働及び教育環境改善への配慮を求める第一次提言を提出しております。

本件は、行政・地域・企業がそれぞれの立場から責任を持ち、対話と共働のもとで進めるべき公共的課題であると考えております。

これらの状況を踏まえ、第一次提言として、以下の事項についてご検討いただきますようお願い申し上げます。

【第一次提言事項】

1. かしいかえん跡地への学校移転用地確保に向けた具体的協議

香住丘小学校及び香椎第2中学校の教育環境改善に向け、かしいかえん跡地への移転用地確保について、西日本鉄道株式会社に対し、福岡市として主体的に協議・要請を行っていただきたい。
また、将来的な人口動向も見据え、福祉・地域交流などへの転用可能性を持つ複合的、かつ柔軟な施設整備についても検討いただきたい。

2. 過大規模校問題への早急な対応

香住丘小学校及び香椎第2中学校の過大規模校化の解消を目指し、将来的な児童生徒数推計を踏まえた、抜本的な教育環境改善策を早急に検討いただきたい。

3. 地域・行政・西鉄による協議体制の構築

土地所有者である西日本鉄道株式会社との間で、地域住民を交えた継続的な協議の場を設置し、公共性・透明性を確保した検討を進めていただきたい。

4. 防災・交流・緑地機能を含めた総合的まちづくり

教育施設だけでなく、防災、交流、緑地、歩行者空間などを含めた総合的な都市政策の視点から、地域全体の将来像を検討いただきたい。

5. 『かしいかえん』の歴史・文化の継承

地域住民に長年親しまれてきた『かしいかえん』の歴史的・文化的価値を尊重し、その記憶や景観を継承する仕組みを取り入れていただきたい。

6. 地域参加型まちづくりの推進

ワークショップや懇話会等で積み重ねてきた住民対話を尊重し、地域住民が継続的に関われる参加型のまちづくりを推進していただきたい。

私たちは、行政・地域・企業が、対話を重ねながら、子どもたちの未来につながるまちづくりを進めていきたいと考えております。

福岡市におかれましても、本提言の趣旨をご理解いただき、積極的な対応をお願い申し上げます。

敬具